

事業名

# 「CMCプロジェクト」

多文化共生の  
意識啓発事業

## 取組内容

子どもたちに多文化共生の意識を促すことを目的に、都内小中学校で国際交流イベントを開催した。また、イベントに参加した子どもたちの意見をまとめた提言集を制作・配布するとともに、提言集に掲載された子どもを招待し駐日大使館ゲストと交流するアニュアルパーティを開催した。

- **各CMCイベントの実施**：①9月29日駒場小学校高学年139名&ドイツ大使館2名サポーター9名参加、②11月11日大崎中学校8年生73名&ギリシャ大使館2名サポーター5名参加。③11月29日芳水小学校4年117名&アゼルバイジャン日本友好協会4名、サポーター6名参加、④1月19日清瀬第四小学校全校227名&トーゴ大使館2名、サポーター5名参加、⑤2月17日貫井中学校1年145名&台北駐日経済文化代表処5名、サポーター7名参加、⑥3月7日伊藤学園3年90名&ニカラグア大使館2名、サポーター8名参加。

- **提言集制作と配布**：イベントに参加した子どもたちからのメッセージをまとめた冊子。延べ26名のサポーターが参加して制作。

- **アニュアルパーティ実施**：令和4年8月20日実施、7カ国の大使館等の来賓や41名の児童生徒を含め総勢100名超参加。

- **広報等**：ラジオ番組、ボランティアフェスタ参加、リーフレット制作。

◆ **事業期間** 令和4年4月1日～令和5年3月31日

◆ **参加人数**  
【CMCイベント】参加児童791名  
【アニュアルパーティ】児童生徒41名



ニカラグアのお金だって！



ハイタッチ！

## 効果

- 8割以上の子どもが**世界への興味**を持ってくれたほか、学校の先生、参加した大人たちも視野を広げる機会となった。「日本をもっと知りたくなった」、「学校について考えた」といった子どもたちも合わせて6割いた。（イベント実施後のアンケートより）
- 通算6回目となる集大成の**提言集vol.6**を制作・配布できたこと。
- 参加者からは「自分が子どもの時にこんなプログラムがあったらよかったのに」、「これからさらにグローバルに活躍する機会が増える子どもたちには、**外国を理解する機会**はととても必要で、CMCのこの活動は大切だと思う」等の意見が寄せられている。

## 事業を振り返って 理事長 岡田珠紀さん



ギリシャ衣装の  
試着！

- イベントの交流の機会はいつも子どもたちの素晴らしい表情が見られます。
- アニュアルパーティは子どもの参加が多かったものの充実した交流とならず反省点となりました。
- ボランティア希望者が少しずつ増えてきています。
- 年1回制作の提言集は大変な作業を伴いますが、今年もサポーターの皆さんと一緒に制作配布ができました。提言集は多くの人に友好や平和の本質を改めて考える機会を提供しており、反響が大きいです。
- コロナがあげましたが申込数の回復は見られませんでした。学校側の予算的な問題が大きいことから、学校側の予算枠を代替する基金などの必要性を感じています。